

# 愛知岳連ニュース

発行所 愛知県山岳連盟  
 発行人 石川 富 康  
 編集人 中平等 新一  
 名古屋市天白区中平3-1902  
 TEL&FAX 052-802-8062

◇10月25日～26日救助技術研修会・講習会(南山) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

愛知県で開催の全国山岳遭難対策協議会



## 平成20年度愛知岳連指導員総会 指導法など中味濃い勉強会を!!

平成20年度愛知岳連指導員総会が、6月17日(火)県スポーツ会館で開かれ22人が出席した。勝野準生指導常任が進行役を務め、議長に上窪英男普及副部長を任命し、会議が始められた。まず、19年度活動状況を高木宏普及部員から次のように報告された。

### 〔19年度活動報告〕

- 4月14日 指導委員会役員会
- 6月9日10日 日山協・指導委員研修会・総会(東京)岩瀬
- 6月23日24日 確保技術研修会・講習会・検定会(名古屋市消防局)
- 6月26日 指導員総会(県スポーツ会館)
- 7月18日 登山勉強会(緊急時における状況判断と危機管理)豊橋 7月24日名古屋
- 7月21日22日 文登研・社会人登山リーダー研修会①富山②上窪
- 8月26日 指導委員会役員会
- 9月1日2日 日山協・夏山レスキュー講習会(滋賀)上窪
- 9月13日17日 文登研・社会人登山リーダー研修会②富山③高木、伊藤
- 9月19日 登山勉強会(読図机上)豊橋 9月26日名古屋
- 10月4日8日 文登研・山岳遭難救助研修会(富山)高木

### 指導員勉強会を!!

- 10月13日 指導委員会技術研修会(南山)岩瀬、上窪
  - 10月20日21日 救助技術研修会・講習会・検定会(南山)上窪
  - 11月3日4日 県人登山教室へ派遣(山瀬、高橋、坂口、森田、高木)
  - 11月14日 登山勉強会(確保)における、指導員のあり方と指導法 豊橋 11月20日名古屋
  - 11月24日25日 上級指導員養成講習会(県教育会館)44人 12月1日同44人
  - 12月15日16日 指導員実技検定(雪上技術)御岳
  - 1月14日 指導委員会役員会
  - 1月27日 指導員検定・登攀総合(南山)
  - 1月29日 指導員検定・筆記試験(つながれつとチゴヤ)
  - 2月13日 指導員集会(豊橋)
  - 2月19日 同(名古屋)
  - 3月22日23日 雪上技術研修会・講習会(御岳)
- 次に指導員名簿について、現在75人が登録されているが更新の迫っている人は注意されたい。また、今後の勉強会のテーマについてアンケートしたい。そして出席率の向上策について指導部で検討することになった。最後に、20年度新役員、事業計画が岩瀬幹生指導委員長より発表され、今年はず味の濃い勉強会にしたいと結んだ。

## 平成20年度全国山岳遭難対策協議会

山の遭難をいかに防止するか  
全国から百五十人参加し討議

平成20年度「全国山岳遭難対策協議会」は、北は北海道から南は九州まで、全国の登山・山岳救助関係者らが集い、7月4日(金)5日(土)の2日間、名古屋千種区「ルブラ王山」で開かれ、150人によって熱心に討議された。

第一日目は、9時から受付が始まり、10時に開会式が行われ、冒頭の挨拶が文部科学省、警察庁とつづき、日山協の田中文男会長が、「最近、多発している遭難事故をなんとかしよう、全国から多くの人に集まっていただいた。事故防止に備え指導者の育成に努め、そして、消防、警察、地元の協力を得て、スピーディーに対処できるように、様々な角度からみなさんのお知恵を拝借して、事故防止に努めていきたい」と述べた。

その後、講師や分科会の座長、助言者らが紹介され開会式は終了した。

次に講演が始められ、静岡大学教育学部教授・村越真氏が「道迷いリスクマネジメント」と題し、「道迷い遭難は跡

を絶たない。特にここ数年間は道迷いによる山岳遭難が多発している。また、道迷い遭難は10年間、遭難態様中1位であり、概ね35%を占めている」などと及し、各地の警察本部の協力を得たデータや独自に収集した登山者の実態に関する資料を交えながら、道迷いの実態とその背景を探り、道迷いによるリスクの発生の構造を捉え、その上、リスク軽減の方策について、北米での道迷い遭難捜索の方法などまじえ、講演を終えた。

12時から13時までには休憩となり、その間を利用して、



7大陸登頂を説明する石川会長

石川富康愛知岳連会長が、スライドを使って自身が成し遂げた「七大陸最高峰登頂」の軌跡を紹介した。また、同会場でメーカーによる救急用具や登山装具などの展示も行われ参加者の関心を集めた。

午後は、3人の講師によって1時間づつ講義が行われ、まず、警察庁生活安全局地域課課長補佐・稲垣好人氏が「平成19年中における山岳遭難発生状況の推移」で、(1)山岳遭難発生状況の推移。(2)平成19年中における山岳遭難発生概要で、目的別発生状況や態様別発生状況(別表参照)などについて説明をした。

次に、名古屋地方気象台観測予報課予報官・谷渡直樹氏が「山の天気と気象の話」として、山の気象学の重要性を語り、お天気と気象についての基礎知識として、空気の種類や質や高気圧・低気圧、台風や雷。また山の天気の特徴について、平地と山の気温や風の違い、雪崩や鉄砲水など指摘。また、雲の種類や状態から天気を知る観天望気の有効性について語った。終わりに遭難しないための気象情報の利用について説明し終えた。

最後に、名古屋工業大学准教授・北村憲彦氏(愛知岳連理事長)が「楽しい山歩きとリスク管理」について、楽しい山歩きを通じて自然に接することは心を豊かにし、健康増進にもつながります。しかし、山はいつも安全な場所とは限らないとして、(1)山歩きの特徴とリスク、(2)リスクに強いリーダーを育てる、(3)楽しいグループ活動(身近な仲間同士あるいはクラブ活動)、(4)山のリスクマネージメントの将来(正しい情報と知識・技術の普及)について述べ、山岳遭難事故防止のための価値観と社会的バックアップ体制、について語った。



熱心に討議された分科会

起こし、大変迷惑をかけております。この場をかりてお詫び申し上げます。今宵はそうしたことを忘れていただき、大いに歓談をしてほしいと思います」と感謝の気持ちをこめて挨拶。つづいて日山協・田中会長の乾杯の音頭で懇親が始まった。

第二日目は、9時から分科会が行われ、第1分科会はテーマ「山岳遭難救助の現状と問題点」ヘリコプター救助活動の現状と登山者への対応を警察・消防署関係者を中心に協議された。また、第2分科会はテーマ「山岳遭難の予防とセルフレスキュー」指導員養成とセルフレスキュー指導についてを山岳関係者を主として協議された。これについて高橋優造委員長が愛知岳連が実施している遭難防止に係わる講習会(研修会)を紹介し、上野英男指導員委員会普及副部長が諸講習会の取り組みと内容を披露。つづいて、名古屋山岳会・吉村賢氏が会の現状と遭難対策について説明をした。

第3分科会は、テーマ「学校登山活動の現状と課題」リーダーの育成と安全登山のために、今求められていることを高校・大学関係者で協議された。愛知県高体連登山

## 登山に関する事故防止の呼びかけ

## I 登山事故防止の要望事項

- 1 登山届の提出を奨励し、計画的な登山の徹底を図る。
- 2 登山道、道標、トイレの整備及び適切な管理等、環境保全に努める。
- 3 詳細な山岳情報と気象情報の提供に努める。
- 4 ツアー登山参加者の安全確保の指導を図る。

## II 登山者に対しての事故防止の呼びかけ

- ～登山の事故防止について、お互い呼びかけよう～
- 1 山の事故は自己責任、山岳遭難共済保険に必ず加入しよう。
  - 2 単独登山は慎重、信頼できる仲間と登ろう。
  - 3 登山計画は、メンバーの実力に適したルートを選定しよう。
  - 4 登山者は、気象及び山岳情報を掌握して行動しよう。
  - 5 トレーニングを積み、体調を万全にして山に出かけよう。
  - 6 登山者は自然保護に努め、ゴミ等は必ず持ち帰ろう。
  - 7 登山者は、各自で非常食・装備を必ず携帯しよう。
  - 8 計画書を作成し、登山口や警察、身近な人に提出しよう。
  - 9 下山報告、事故報告は必ず提出しよう。

専門部の活動状況、参加各校の生徒と傾向の意識調査については討議。また「大学生リーダーの育成と安全登山のため」に、今求められていること」と題し、愛知学院大学登山部監督・鈴木清彦氏がスピーチした。

午後から全体会が設けられ各分科会の座長から協議の結果発表があった。

第1分科会では、ヘリの要請について、長野、岐阜、富山県側は110番、その他の地域は119番が良い。第2分科会は安藤武典副会長が愛知岳連の遭難対策のまとめを発表。第3分科会は、高体連登山部副部長・河野義人氏が各校では入部する生徒が少ない。特



協議会に参加した岳連スタッフ

に女性は極端、顧問の先生も経験不足から不安を抱えている人が多いと発表。

最後は「山岳遭難事故防止の呼びかけ(案)」を中平等新一議長が読み上げ、採択されて全体会を終了した。

## 【過去10年間の山岳遭難発生状況】

区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
発生件数	1,077	1,195	1,215	1,220	1,348	1,358	1,321	1,382	1,417	1,484
遭難者数	1,341	1,444	1,494	1,470	1,631	1,666	1,609	1,684	1,853	1,808
死者・不明者	251	271	241	243	242	230	267	273	278	259
負傷者	439	555	635	615	684	677	660	716	648	666
無事救出等	651	618	618	612	705	759	682	695	927	883

※「不明者」とは行方不明者を示し、「無事救出等」には自力下山を含む。

## 【過去10年間の中高年登山者の山岳遭難発生状況】(人員)

区分	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	
遭難者	総数	1,341	1,444	1,494	1,470	1,631	1,666	1,609	1,684	1,853	1,808
	中高年	1,023	1,158	1,135	1,127	1,223	1,298	1,309	1,372	1,507	1,439
	比率	76.3%	80.2%	76.0%	76.7%	75.0%	77.9%	81.4%	81.5%	81.3%	79.6%
不明者・死者	総数	251	271	241	243	242	230	267	273	278	259
	中高年	209	235	206	221	219	213	249	244	251	237
	比率	83.3%	86.7%	85.5%	90.9%	90.5%	92.6%	93.3%	89.4%	90.3%	91.5%

目的別	細目別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計(人)
登山	登山	19	33	38	96	97	78	112	216	108	104	89	44	996
	ハイキング	3	5	4	4	17	17	2	11	15	31	10	7	126
	スキー登山	5	26	5	15	7	0	0	0	0	0	1	1	60
	沢登り	0	0	0	1	3	2	4	12	6	4	0	0	32
	岩登り	1	0	1	1	2	6	3	2	7	2	2	0	27
	計(人)	28	64	48	77	126	103	121	243	136	141	102	52	1,241

閉会式で、文部科学省登山研修所長・長登健氏が「この度は、全国から多くの方々に参加していただき、2日間熱心に協議してもらいました。この成果を今後の遭難防止に生かして欲しいと思います」

ます。皆さん大変お疲れさまでした」と挨拶。

以上をもって、2日間にわたった協議会が、有意義に滞りなく終了した。

(中平等 新一)

ピクサーから安心して選べる三河地区  
のエキスパートまで  
のプロショップ

JR刈谷駅前

**穂高**

〒448 刈谷市桜町1-13  
TEL.0566(23)8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!

名古屋駅前の山とスキーの専門店

**駅前アルルス**

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27  
(第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417